

令和4年

新年を迎えよう

● 市長新年あいさつ ●



明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、市民・企業市民の皆さまには、長期間にわたる公共施設の閉鎖や営業時間の短縮など、さまざまな活動の制限にご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。今後も新たな感染の波の到来が懸念されており、依然として予断を許さない状況にありますので、引き続き皆さまのご協力を仰ぎながら、未来へつながる市政運営に努めてまいります。感染収束に向けて重要な鍵となる新型コロナウイルスワクチンについては、対象者の8割以上の方が2回目の接種を完了している状況にあります。引き続き関係機関と協力し、3回目のワクチン接種体制の確保などに努めてまいります。

今後も一日も早い収束を願うとともに、感染拡大防止・地域経済対策・健やかな日常という重点軸をテーマに適切な対応を行ってまいりたいと考えております。

昨年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が1年の延期を経て開催され、躍動するアスリートの姿がコロナ禍にある世界中の人に勇気と感動を与えてくださいました。

とりわけ、本市にゆかりのある選手が目覚ましい活躍をされ、野球では田中将大選手、伊藤大海選手が金メダルに輝き、卓球では丹羽孝希選手が2大会連続となるメダル獲得、さらに、スケートボードでは開心那選手が、見事夏季オリンピック日本人最年少メダリストとなりました。全国で最初にスポーツ都市宣言を行った本市として、とても誇らしいことであり、選手や関係者の皆さんには、改めて敬意を表します。

今年の2月には、冬季オリンピックが北京で開催されます。アイスホッケー女子日本代表スマイルジャパンが出場を決めており、ぜひ、氷都とまこまいから多くの選手が選出され、明るい話題を届けていただけることを期待しております。

苦小牧市長

いわくらひろふみ
岩倉博文